

神戸市会だより

2024年
5月
No.221

ホームページでは神戸市会の最新情報をご覧ください。

神戸市会 | 検索

広報紙KOBEBEより抜き出してお読みください。

令和6年度 予算を可決 しました

2月15日、2024年第1回定例会市会を開会しました。
会期は5月29日までの105日間です。2月議会（2月15日～3月26日）では令和6年度予算および関連議案を中心に審議しました。

（市長提出99件、議員提出3件、合計102件）

2月15日の本会議において、久元市長などから令和6年度予算および関連議案について説明を受けました。2月21日・22日には各会派の代表者が質疑を行いました。その後、予算特別委員会を設置、局別に審査を行いました（主な内容は2～4面をご覧ください）。また、3月25日の本会議で全ての議案を可決しました。

2024年 第1回定例会市会【2月議会】の動き

2/15	本会議	○ 開会 ○ 議会の委任に基づく市長専決処分などの報告 ○ 会期決定 ○ 令和6年度当初予算などの議案の提案 ○ 令和5年度補正予算などの議案の提案・質疑
2/16・19	常任委員会	○ 令和5年度補正予算などの議案および陳情の審査
2/21・22	本会議	○ 令和5年度補正予算などの議案の討論・採決 ○ 議員提出議案の提案・採決 ○ 令和6年度予算および関連議案に対する会派代表の質疑 2・3面でご紹介 ○ 予算特別委員会設置
2/26～3/13	予算特別委員会	○ 令和6年度予算および関連議案、陳情の審査 4面でご紹介
3/15	本会議	○ 令和5年度補正予算などの議案の追加提案
3/18・19	常任委員会	○ 令和5年度補正予算などの議案および陳情の審査
3/25	本会議	○ 人事案件の提案・採決 ○ 令和5年度補正予算などの議案の採決 ○ 令和6年度予算および関連議案の討論・採決 ○ 議員提出議案の提案・質疑・討論・採決
3/26	本会議	○ 一般質問 4面でご紹介

後半の5月議会は令和6年5月9日（木）から29日（水）までの予定です。
詳細は市会ホームページをご確認ください。→



議決した主な議案

令和6年度当初予算

一般会計、特別会計、公営企業会計の総額1兆9,270億円で、いずれも原案どおり可決されました。令和6年度予算は、全国的な少子・高齢化に伴う人口の自然減が加速する中、神戸の将来を見据えながら、人口減少時代にふさわしいまちづくりを目指す予算となっています。

令和5年度補正予算

能登半島地震の被災者や、エネルギー・食料品等の価格高騰の影響を受ける市民・市内事業者を支援するとともに、防災・減災、国土強靱化や、防犯カメラの増設など安全・安心なまちづくりを進めます。

議員提出議案

- **イスラエル・パレスチナの武力紛争の速やかな平和的解決を求める決議**
イスラエル・パレスチナの平和が早期に実現することを強く求めるとともに、我が国政府に対し、停戦に向けた適切な外交努力を積極的に講じることを求める決意を表明しました。
- **規則の制定**
神戸市会会議規則の一部を改正する規則を制定しました。
- **意見書の提出**
「緊急事態に関する国会審議を求める意見書」を可決し国に提出しました。

人事案件

人権擁護委員候補者（32名）の推薦について支障なしと答申することを決定したほか、神戸市教育長の任命や神戸市固定資産評価審査委員会委員（4名）の選任、神戸市公正職務審査委員会委員（5名）の委嘱、兵庫県公安委員会委員（1名）の推薦に同意しました。

令和6年度予算に対する各会派の賛否一覧

○=賛成 ×=反対

件名	自	維	公	共	こ	つ	無 平野章	無 松本し	無 上原	無 つじ	無 村上	結果
一般会計／国民健康保険／空港整備／新都市整備	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	可決
市場／市街地再開発／市営住宅／介護保険／後期高齢者医療／下水道／港湾／自動車／高速鉄道／水道	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
食肉センター／母子父子寡婦福祉資金貸付／駐車場／公債／工業用水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

会派届出名の略称 自 自由民主党 維 日本維新の会 公 公明党 共 日本共産党 こ こうべ未来 つ つなぐ 無 無所属

本会議での各会派の代表質疑から

2月21日・22日の本会議では、令和6年度当初予算とそれに関する議案について、市長・副市長などに質疑しました。その主な内容をご紹介します。

議員名（会派届出名の略称、選挙区）

録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。

神戸市会 中継 | 検索



2月21日

2月22日

まち・くらし

2月21日の代表質疑から

「SDGs貢献都市神戸」の実現に向けて

Q 当初予算案では、「SDGs貢献都市神戸」の実現に向けた施策も数多く計上されている。SDGs推進課も新設され、黒田新副市長の手腕により各局横断的な取り組みがより強力に推進されると期待している。まずは、森林の保全・整備や六甲山の環境改善などが中心になると考えるが副市長の決意を伺いたい。

こうたろう 議員
（自由民主党/垂水区）



A 「こうべ森と木のプラットフォーム」(※1)を効果的に運営しながら森林保全整備、環境改善に努め、都市部の市民が神戸の自然に親しむ機会の提供や、都心の緑化の推進による豊かな都市環境の形成など、持続可能な魅力あふれるまちづくりに全力で取り組みたい。

2月21日の代表質疑から

防災や復興に係る意思決定の場に女性の登用を

Q 女性目線での防災対応については、これまで決算特別委員会などで、防災や復興に係る意思決定の場に女性の参画を進めてほしいと要望してきたところだが、その後どのような進捗があったのか。女性の適任者の登用をぜひともお願いしたい。

うえなか まさこ 議員
（自由民主党/北区）



A 防災福祉コミュニティの代表者会議で、避難所のリーダーに女性と男性の両方を配置し、避難者への物資の配布や避難所運営の意思決定の場に女性も参画できるよう促したり、区の総合防災訓練で専門家から女性リーダーの必要性について講義いただいたりしている。引き続き避難所の男女共同参画による運営を推進していく。

用語説明

※1 【こうべ森と木のプラットフォーム】
森林整備や木材活用などに関わるさまざまな担い手の方々の情報共有や、新たなつながりを作るために、2023年7月に設立された関係者ネットワーク

※2 【MICE】
企業などが行う会議、報奨・研修旅行、国際機関や団体、学会などが行う国際会議、展示会や見本市、イベントといった多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称

※3 【WHO神戸センター】
「WHO健康開発総合研究センター」の略称。1996年3月、世界における健康課題に対処するため、WHO（世界保健機関）本部直轄の研究機関として神戸市中央区のHAT神戸に設立された。

2月21日の代表質疑から

充実した学習環境の整備

Q 保育園や学童における幼少期からの英語教育推進と看護師配置の推進をお願いすると同時に、英語教育については、民間ツールを使うなど教員の負担を最小限にして、どう効果的に予算を使えば教育の質を早く向上できるのか、いち早く定量的目標を立て検討いただきたい。

あさい みか 議員
（自由民主党/灘区）



A 保育園などにおける英語教育について、他都市の取り組み、保護者のニーズ、事業者の声などを引き続き研究したい。また教員の負担が増えないよう留意しながら指導力の向上に努め、英語教育について専門家のご意見もいただき検証した上で、具体的な目標を設定し英語教育の充実に取り組んでいく。

2月21日の代表質疑から

地域交通の充実

Q 路線バスの廃止や減便が進む中、地域交通の検討にあたっては、既存の交通事業者と折り合いをつけながら、他都市の事例や民間の知見を取り入れることが重要。社会福祉施設や病院、教習所の送迎バスなど、地域の既存の輸送手段を活用すべきと考えるがいかがか。

どうした とよし 議員
（公明党/北区）



A バスやタクシー事業者の協力のもと、コミュニティバスや乗り合いタクシーなど、地域の実情に応じた運行に取り組むとともに、交通事業者による運行が困難な地域では、輸送資源を総動員したさまざまな移動手段の確保について、都市局を中心に関係部局で連携しながら積極的に検討を行っていききたい。

2月22日の代表質疑から

トイレトレーラーの導入による防災意識の啓発

Q 能登半島地震の被災地では全国の自治体から集まったトイレトレーラーが活躍している。神戸市では被災時に全市民に対応することは困難だが、イベントなどで活用し、市民の防災意識を高めることも有効ではないか。

つじ やすひろ 議員
（無所属/東灘区）



A くみ取りが必要なため、本市災害時の活用は補完的になると思うが、他都市の災害における避難所での活用や災害派遣には有用と考える。啓発・広報での活用も含め、他都市の状況も注視しつつ導入について検討していきたい。

健康・福祉

2月21日の代表質疑から

带状疱疹ワクチン接種費助成

Q 兵庫県において、2024年度からの带状疱疹ワクチン接種助成事業の開始が発表され、県下の市町が助成する場合に2分の1、上限2千円が支給されることになった。神戸市でも早急に助成を開始するとともに、県や国に対し、助成内容の充実や事業の継続、早期の定期接種化を強く要望していただきたい。

すがの よしのり 議員
（公明党/兵庫区）



A 本市としても、2024年度の可能な限り早期に、带状疱疹ワクチンへの助成を実施できるよう検討を行う。兵庫県に対しては、2025年度以降の助成の継続および助成内容の充実、国に対しては、定期接種化の要望を引き続き行っていききたい。

2月21日の代表質疑から

医薬品過剰摂取（オーバードーズ）への対応

Q 精神的な苦痛から逃れ多幸感を得ることが目的のオーバードーズが深刻な社会問題となろうとしている。若者の居場所のなさや生きづらさから起こっているという話もあり、市販薬を規制するだけでなく、神戸市として相談窓口になくような対応を考えていただきたいが、いかがか。

すがの よしのり 議員
（公明党/兵庫区）



A 現在、精神保健福祉センターなどでの相談対応を行っているが、救急搬送先の医療機関から神戸市の窓口を紹介してもらうなどの工夫も必要。また2024年度から予定している依存症家族プログラムにオーバードーズのプログラムも作り、悩まれる方への支援の取り組みを進めたい。

2月22日の代表質疑から

多死社会への対応

Q 一人暮らしで頼る身内がなく、生活にゆとりがない高齢者の方の葬儀・納骨の心配事を生前に解決するエンディングプランサポート事業は、人生最後の安心と無縁遺骨の件数を減らす施策の一つである。自治体がしっかり関わり進めたいと考えているがどうか。

いさやま だいすけ 議員
（こうべ未来/灘区）



A 生前に葬儀や納骨について契約をする際に行政が支援するエンディングプランサポート事業を、2024年度から実施したいと考えている。本市でも無縁遺骨の件数が増加しており、家族の有無などにかかわらず葬られる機会を提供することで、葬儀や納骨に関する市民の不安解消を図っていききたい。

経済・観光

2月21日の代表質疑から

人口減少を踏まえた外郭団体のあり方

Q 神戸市の事業を、人口減少時代を見据えたものにかじを切るのに合わせ、外郭団体のあり方も人口減少を踏まえたものに変革していく必要がある。2024年度はどのような見直しを検討するのか。

しらくに 高太郎 議員
(自由民主党/垂水区)



A 中小企業では人材不足が深刻化する一方、就労意欲が高いシニア世代を積極的に活用できていない。そこで高齢者の就労意欲と雇用者側のニーズをマッチングさせる機能や支援体制をより強化するため、産業振興財団と神戸いきいき勤労財団の統合の検討を始めた。ほかにも、神戸ハーバーランド株式会社について、より民間事業者主導の団体へ移行する検討などを行っている。

2月21日の代表質疑から

宿泊税の検討

Q 宿泊税の導入には、観光関係事業者の理解が必要である。宿泊税を導入している福岡市の宿泊事業者へのアンケートでは、宿泊税を活用した観光施策として、MICE(※2)誘致による地域経済の活性化や施設の整備などの受入支援が高く評価されている。観光MICE施策を推進する神戸市も、宿泊税の導入を検討してはどうか。

原 直樹 議員
(日本維新の会/垂水区)



A 宿泊税を導入している自治体では、宿泊施設や駅などの受入環境の整備、MICE施設の整備などに宿泊税が活用されているが、一方で、関係者の理解や合意形成が不可欠であるとも聞いている。引き続き課題整理を行いながら検討していきたい。

2月22日の代表質疑から

冬の経済活性化

Q 2023年度のルミナリエは、震災の慰霊と鎮魂、復興再生への夢と希望というテーマにふさわしい開催時期として、従来の12月から1月に変更し、過度な集中を避け回遊性を高める新たな試みを行った。閑散期となる夜の街の経済活性化に寄与しており、引き続き1月開催を進めるべきではないか。

やの こうじ 議員
(こうべ未来/東灘区)



A 約230万人が来場し、分散開催による回遊性が生まれ、周辺の店舗などで1月の売上げがアップしたと聞いている。2024年度の開催方針はルミナリエ組織委員会で議論することになるが、実施内容や時期について本市も積極的に参画する形で議論を進めていきたい。

2月22日の代表質疑から

航空機産業の誘致

Q 神戸空港島に航空機整備専門会社など航空機関連産業を誘致できないか。航空機産業は地元大手企業の参入に加え、先端技術分野も含め波及効果も大きいと思うがいかがか。

平野 章三 議員
(無所属/垂水区)



A 神戸空港島の将来像について、先端技術を有する航空機関連産業などさまざまな分野の検討をしている。航空機整備の世界的な需要増加が見込まれる中、神戸には航空機技術を有する大手企業が集積しており、神戸経済の成長に最大限寄与する戦略的な将来像を描きたい。

村上 立真 議員
(無所属/兵庫区)



Q 太平洋諸国地域は、神戸港から定期航路が運航されるなど海運を通じ密接な関係にあるが、神戸空港の国際化も見据え、これら地域との交流を増やすためにもさらなる関係構築に努め、神戸市の国際的プレゼンス(存在感)を向上させるべきではないか。

A 海外との関係を通じた神戸市のプレゼンス向上は重要であり、各国と情報交換を行う中で、経済交流など相互利益につながる交流の可能性が期待できる場合は、その関係性を深めていきたい。

行財政

2月21日の代表質疑から

自治体におけるAI(人工知能)の効果的な活用

Q 生成AIの導入には神戸市の業務効率や職員の働き方を飛躍的に改革する可能性がある一方で、十分に研究の上で今後の行財政改革に反映させてほしいと考えている。神戸市独自のAIの導入を検討するとともに、次期総合基本計画にもAIの積極的な活用を盛り込むべきではないか。

ながさわ 淳一 議員
(日本維新の会/長田区)



A 市の独自データに基づく生成AIの活用については現在検証中であり、導入には時間がかかるが、引き続き幅広く情報収集し、導入の可能性を模索したい。次期総合基本計画の検討にあたっては、AIや新たなテクノロジーの活用に関する政策議論を深め、魅力ある将来像を描きたい。

2月21日の代表質疑から

WHO神戸センター(※3)への支援のあり方

Q WHO神戸センターには、兵庫県や神戸市、経済界から運営費等の支援が行われており、2024年度も市から1.4億円の拠出が予定されている。一方、県議会では、同センターへの今後の支援のあり方に関し、県の財政負担の軽減に繋がるよう検討していく方向が示された。市としても、支援の是非も含め見直すべきではないか。

高橋 としえ 議員
(日本維新の会/西区)



A 県議会で、知事から財政負担の軽減につながるよう検討を行う旨の発言があり、今後、兵庫県を中心にその検討が行われていく。本市としては、県と基本的な認識の違いはなく、経済界も交えて今後の支援のあり方を検討していきたい。

2月22日の代表質疑から

大型開発優先の施策の中止

Q 令和6年度予算案では、令和5年度に増して、神戸空港国際化など大型開発に莫大な予算が計上されているが、震災後の大型開発によっても人口減少は止まらず、市民の暮らしも経済も良くなっていない。大型開発は中止し、市民の福祉増進のための予算に転換すべきではないか。

森本 真 議員
(日本共産党/長田区)



A 令和6年度予算は、本市を取り巻く課題を踏まえながら、神戸の将来を見据え、ソフト・ハード面のバランスを踏まえて編成した。今後とも引き続き、都市の価値や暮らしの質を高めるために、バランスのとれた政策を展開し、持続可能な自治体経営を行っていく。

2月22日の代表質疑から

水道料金、市バス運賃の値上げ中止

Q 値上げによる負担増は、地域住民の自主的な活動を阻害し、生きがいを奪うもので、市民からも同様の意見を聞いている。また、高齢者の外出を減少させ健康を害するなど、多岐にわたって影響する可能性があり、市政全般に関わるオール神戸の問題である。値上げは中止するべきだと考えるが見解を伺いたい。

赤田 かつり 議員
(日本共産党/垂水区)



A 料金改定は将来にわたって事業を継続し、安定的なサービス提供や利便性向上に向けた取り組みを実施し、市民の暮らしを支える使命を果たしていくために不可欠の対応だと考えている。それによる影響に対しては、全庁的に各局が連携して対応していきたい。

2月22日の代表質疑から

特別支援学校の看護師の処遇

Q 2024年度から会計年度任用職員の学校看護師の時給が下がると聞いた。期末勤勉手当の支給に伴う変更が理由だが、週2日勤務の職員には支給されず、年収換算では減となる。人材確保・定着の観点から、むしろ処遇をよくするべきではないか。

香川 真二 議員
(つなぐ/西区)



A 会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給が可能となり、学校看護師について、市長部局と同様の処遇とすることで処遇改善を行う。週の勤務時間が15.5時間未満の職員については期末勤勉手当の支給対象外であるため、処遇が下がってしまうが、来年度は従前の処遇を維持するとともに、その後についても検討する。

2月22日の代表質疑から

水道事業における納付書送付経費削減をはじめとする企業努力

Q 現在納付書払いの世帯が口座振替とクレジット払いに1対1の割合で移行した場合、約7,500万円の経費削減ができる。インセンティブを設けてでも低廉な決済方法に誘導することは、値上げより前に行う経営努力ではないか。

上原 みなみ 議員
(無所属/北区)



A これまでも収納経費が安価な支払方法への誘導に取り組んできた。2025年度には紙の納付書不要のWEB決済も導入予定であり、納付書利用者にはしっかりPRを行いWEB決済に誘導して経費削減に努めたい。

議場見学を受け付けています

神戸市会では、市民のみなさんに市会をより身近に感じてもらうため、議場の見学を受け付けています。普段、なかなか見ることのできない議場にぜひお越しください。



予算特別委員会の質疑から

予算特別委員会では、令和6年度当初予算および関連議案について審査しました。委員会は、2月22日に設置され、2月26日から3つの分科会で局ごとに審査した後、3月11日には総括質疑を、3月25日の本会議では市長に対して要望を行いました。議員名(会派届出名の略称、選挙区)

予算特別委員会

議員63名で構成

委員長 しらくに 高太郎
あさくら こ
 副委員長 朝倉 えつ子
とくやま としこ
徳山 敏子
さとう まちこ

録画映像は
神戸市会ホームページで
ご覧いただけます。→



神戸市会 中継 | 検索

3月11日

3月11日の総括質疑から

AI判断のバイアス対策

Q AI活用によって生じるバイアス(※1)や不当な差別的取り扱いなどの誤判断リスクについて、どのように対策していくのか。

おかだ
岡田 ゆうじ 議員
(自由民主党/垂水区)



A 条例案の基本理念に掲げているように、不当な差別をもたらすことなく、公平性を最大限確保した上でAIを活用できるようにリスクアセスメント(※2)の制度設計を進めていく。今後、有識者の意見、国における安全性の評価手法の検討なども踏まえ、基本指針を策定する中で、項目内容などの詳細を検討する。

3月11日の総括質疑から

不登校支援の充実

Q 勉強したい意欲はあっても学校に行けない児童に対してや、2024年度に全ての小中学校に設置が完了する校内サポートルームでも、授業のライブ配信が行えるように環境を整える必要があるのではないか。

とくやま としこ
徳山 敏子 議員
(公明党/北区)



A 校内サポートルームの整備に併せてネットワーク環境も整備するため、整備が完了すれば授業のライブ配信視聴が可能となる。授業のライブ配信も含め児童生徒や保護者の希望を聞きながら、積極的に支援を行っていききたい。

3月11日の総括質疑から

新規採用教員の育成

Q 2023年より、4月採用予定の教員への研修が2月から実施され、着任に向けた心構えや授業づくりを事前に学べて好評だったと聞いている。研修のコマ数をさらに増やせないか。また、採用日を2月などに前倒しできないか。

ゆきお
かじ 幸夫 議員
(こうべ未来/西区)



A 本市の採用前研修は全国的にもあまり例を見ない充実した研修であると考えている。コマ数増も含めてさらなる充実に努めるとともに前倒し採用も可能な限り積極的に対応することで、人材確保と若手教員の育成に取り組んでいきたい。

3月11日の総括質疑から

外郭団体などの役員報酬の公表

Q 外郭団体などの役員報酬に関しては、神戸市は一律の上限を設定しておらず、各団体が個々の事情に基づき決定している。市が出資または出捐する法人には市民の税金が投じられていることから、役員報酬を市民に公表するべきではないか。

おおい
大井 としひろ 議員
(日本維新の会/須磨区)



A 株式会社などの法人における役員報酬の公表については、法の要請などに基づき、独立した経営主体としてそれぞれで判断されるべきものであり、市の出資、出捐をもって一律に公表を義務づけることは考えていない。

3月11日の総括質疑から

職員削減方針の撤回

Q 阪神・淡路大震災以降、全国平均の倍以上のスピードで進む職員削減により、大きな支障が出ている。消防では職員基準の引き下げまで検討しながら、市民には消防団や防災福祉コミュニティの協力を求めている。職員削減方針は撤回すべき。

にし
西 ただす 議員
(日本共産党/東灘区)



A 震災以降、全庁的に職員を削減する中、消防局など強化すべき部門は重点的に人員配置を行ってきた。消防力については最新テクノロジーなどを活用するとともに、関係機関などとの連携、地域防災力の強化に努めていく。

用語説明

※1 【バイアス】

思考や認識の偏り

※2 【リスクアセスメント】

危険性を可能な限り低減するための事前評価

質疑した他の議員(総括質疑)

あわはら
あわはら 富夫 議員(つなぐ/中央区)

ひらの
平野 章三 議員(無所属/垂水区)

うえはら
上原 みなみ 議員(無所属/北区)

むらかみ
村上 立真 議員(無所属/兵庫区)

要望事項

3月25日の本会議で、しらくに高太郎予算特別委員長から、市長に対し要望を行いました。

●神戸空港

神戸空港の国際定期便や国際チャーター便の就航に向けて、利用者増に対応できる利便性の高い空港整備を遅滞なく進めるとともに、世界のエアラインに対して、神戸と神戸空港の魅力発信・プロモーションに積極的に取り組まれない。

●まちの賑わい創出

まちの賑わい創出のため、神戸ルミナリエなどイベント開催時において、近隣の飲食店等へ経済効果が波及する仕組みを構築し、ナイトタイムエコノミーの充実を図られたい。また、神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会について、万全の準備をもって安全に開催するとともに、大会を応援する飲食店を募るなど、神戸のまちが元気になるべく施策に積極的に取り組まれない。

●切れ目のない子育て支援策

病児保育や小児科・産婦人科の確保・充実、利用しやすい産後ケア事業など、妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援を強化するとともに、子育て施策全般について、効果的かつ戦略的な情報発信に努められたい。また、境界知能への理解を深め、寄り添った支援を行うため、未就学児の段階から必要な検査を実施されたい。

●教育環境の充実

スクール・サポート・スタッフの全校配置などを契機に、さらなる教職員の職場環境の改善に取り組まれない。また、全小・中学校における校内サポートルームの整備・支援員の配置、授業のライブ配信などによる不登校児童生徒への支援に努められたい。

●市営交通事業の経営改善

市営交通事業については、広告収入増に向けて成果主義を取り入れるとともに、保有不動産の利活用に取り組まれない。また、バス待ち環境の改善を図るなど、さらなるサービスの拡充に努められたい。

一般質問

3月26日の本会議で、議員がそれぞれの立場・観点から、市政一般について市長・副市長などに質問しました。

議員名(会派届出名の略称、選挙区)

おおの
大野 陽平 議員(自由民主党/東灘区)

- ①次期総合基本計画の策定について
- ②公立学校におけるブランド力の向上について
- ③気象警報発令時の学童保育について
- ④市内経済の活性化について
- ⑤トップスポーツチームと連携した取り組みについて
- ⑥ふるさと納税の確保について

ほういけただし
坊池 正義 議員(自由民主党/西区)

- ①南海トラフ地震などの大災害への備えについて
- ②里山・農村地域の保全と活用について
- ③旧農業公園の再整備について

かわくち
川口 まさる 議員(日本維新の会/灘区)

- ①神戸人口ビジョンについて
- ②救急需要への対応について
- ③市民病院における今後の新興感染症・大規模災害への対応について
- ④まちなかのスポーツ振興について
- ⑤地下鉄海岸線の収支改善について

みき
三木 しんじろう 議員(日本維新の会/中央区)

- ①児童館における適正な運営と人材配置のチェック機能について
- ②KOBESニア元気ポイントについて
- ③教員へのサポート体制の強化、子ども達への体験学習について
- ④HAT神戸におけるドッグランの設置について
- ⑤春日野交差点改良に伴う渋滞対策について

ほそや
細谷 典功 議員(公明党/垂水区)

- ①視覚障がい者支援の充実について
- ②障がいのある方が住みやすい神戸のまちづくりの推進について
- ③地域福祉ネットワーク事業の機能強化について
- ④コミュニティスクールの活性化について
- ⑤行政手続のデジタル化について
- ⑥フルボ酸鉄の人工供給の実証実験について

あさくら
朝倉 えつ子 議員(日本共産党/北区)

- ①済生会兵庫県病院と三田市民病院との再編統合について
- ②障がい者支援の充実について
- ③困難女性の支援の充実について
- ④ひよどり台2丁目大型ダンプ等車両進入問題の解決について

かわうち
川内 清尚 議員(こうべ未来/垂水区)

- ①神戸徳洲会病院について
- ②学校と保護者・地域との関わり方について
- ③保護者との連絡ツールアプリ(すぐる)について
- ④登下校時の見守り体制の在り方について
- ⑤保護司活動への支援について

録画映像は
神戸市会ホームページで
ご覧いただけます。→



3月26日